

こんにちは ふくま健治です

活動報告ニュース
18年7月号

西日本豪雨災害街頭救援募金



7月14日、大分市議団は、大分駅北口付近にて、県・地区委員会のみなさんと、街頭にたちました。通行中のみなさんからの、心温まる募金が寄せられました。また6月市議会の報告もさせていただきました。

県生健会第39回総会

6月30日、大分県総合福祉会館で行われました。県下の別府市・日田市などから代議員が参加しました。



(開会あいさつする福間) 行政交渉の成果」などが交流されました。運動の経過報告と方針(案)決算報告と予算(案)が採択されました。

私は引き続き、会長としてがんばることになりました。

討論では「生活苦と貧困が進行している中で守る会の役割は重要」「班づくりが運動の土台」「北部九州豪雨被害への日田市への支援と

行政交渉の成果」などが

住民の暮らしをまもり、地域活性化を

県労連自治体キャラバン、大分市と懇談

6月28日、県労連代表らが、申し入れしていた要求項目で①公契約の適正化 ②地元中小企業で働く労働者の待遇・福利厚生改善 ③公務労働に従事する非正規職員の賃金改善から安心・安全の医療・介護・年金・保育と教育の充実などで担当課と懇談しました。



(市役所・課長控え室にて) 及び地方自治法の一部改正に伴い制度改正を検討している」などの回答がありました。党議員団3名も同席しました。

市は、公契約の適正化については「入札制度等の改善で公契約の適正化を図る」公務労働に従事する非正規労働者の賃金については、地方公務員法

国保の改善申し入れと減免申請

6月29日、国保を考える大分市民の会は、18年度から国保の「都道府県単位化」がスタートしたが、被保険者の願いと裏腹な、公的医療費の恒久的抑制する仕掛けづくりと指摘。



(市議会第1委員会室にて) 招かない措置をおこなうこと。②協会健保の2倍近い負担となっている高い国保税を値下げすること。など6項目の改善方について協議し、減免申請も提出しました。

国保制度が憲法25条の理念に基づき、市民の命と健康、暮らしを守る制度に改善するため、①「国保の都道府県単位化」により、市民負担の増加を

生活保護・介護保険改善で市と協議

7月13日、大分生活と健康を守る会は、税制、国保・介護・生活保護、子育て・保育、教育、障がい者対策など要求で協議をおこないました。



(市・教育委員室にて) 生活保護決定・変更通知は、「利用者にわかりやすくするよう検討する」身障医療の償還払いの手続きの「簡素化について検討している」こと等が明らかになりました。

生活保護決定・変更通知は、「利用者にわかりやすくするよう検討する」身障医療の償還払いの手続きの「簡素化について検討し

2018 平和行進大分中央集会

7月10日、大手公園には100名がつどい、平和をめぐる情勢、県内平和行進の経過と福岡県への引き継ぎまでの協力。広島・長崎大会への参加などの報告がありました。



私は、同日午前中、世界大会成功へ6件訪問し、約5万円の募金が寄せられました。

←(大手公園にて)

★その他、団地自治会の民主化の申し入れ、課税の「誤り」、児童扶養手当の申請、遺言状作成などの相談に対応しました。

暮らしや地域の要求をお寄せください

ふくま健治生活相談所

大分市東大道3-2-6
546-4505 (FAX兼用)
携帯090-2714-5612

